

剣道二段審査会学科試験問題 (解答を記入して審査当日持参してください)

令和3年 月 日

※ 受審番号は、審査会当日にならないと分かりません

二段 受審番号 氏名

1. 次の文章は、日本剣道形について書かれたものです。文中の空欄に正しい言葉を下から選んで書きなさい (20)
- (1) 上段の構えは太刀を頭上に振りかぶり、相手の気を圧して、捨て身で攻撃する性格をもつ。日本剣道形では、諸手左上段と () がある。
- (2) 日本剣道形の二本目は打太刀、仕太刀、共に () の構えである。この構えはすべての構えの基礎となる構えで、攻防に最も適している。
- (3) 日本剣道形の三本目は相下段で構える。この構えは () をさげて自分の身を守りながら、相手の変化に応じて攻撃に転ずる構えである。
- (4) 日本剣道形の四本目は打太刀が左足を前に出し、 () に構え、仕太刀が左足を後ろに引き、脇構えとなる。

仕太刀 八相 剣先 下段 諸手右上段 すり足 中段

2. 「応じていく技」について、A群とB群で関係のあるものを線で結びなさい。 (20)

A 群	B 群
すり上げ技	・ 相手の打突に対して、体をかわしたり、引いたりして空を打たせ、技がついたところを打つ技
返し技	・ 打ち込んできた竹刀を鎧ですり上げてすかさず打つ技
打ち落とし技	・ 打ち込んできた竹刀を迎えるように応じ、すかさず竹刀を返して打つ技
抜き技	・ 打ち込んできた竹刀を打ち落とし、すかさず打ち込む技

3. 次の文章は「試合に臨む心構え」に関して説明したものです。文中の空欄にあてはまる言葉を下群から選び、記号で答えなさい (20)

試合をするときは () のみにこだわらず、相手の () を尊重し、正しい () や態度、充実した () で正々堂々と公明正大に競い合う心構えが大切である。

ア：手元 イ：勝敗 ウ：人格 エ：顔面 オ：氣勢 カ：姿勢

4. 次の文章で正しいものには○、まちがっているものには×をつけなさい。 (20)

- (1) 竹刀での刃部とは、弦の反対側である。 ()
- (2) 切り返しの連続左右面打ちの角度は45度である。 ()
- (3) 試合者は、審判の判定に不服がある場合は、意義を申し立てることができる。 ()
- (4) 鏝ぜり合いになったら、相手の反撃を封じ込めるために、自分の竹刀を相手の首や肩に押しつける。 ()

